

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区文化振興事業		北区役所			
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
区民の芸術文化に対する意識の高揚を図るとともに、北区の魅力づくりや文化的なまちづくりに寄与することを目的とする。	①北区写真展 テーマを設定して写真を募集し、審査のうえ優秀作品の表彰を行うとともに、応募作品の展示を行う。	北区写真展の応募者数と作品数	57人 86点	30人 69点	19人 40点
	②装飾教室 北区のタウンフラワーのポーチュラカをモチーフにカラフルなアート作品を作成し、展示を行う。	装飾教室の参加人数	—	—	約50人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
△ ・写真展は、北区の魅力向上に一定の効果は見込めるものの、出展数の減少に伴い、北区に限定しない募集テーマを設定したことで、区で実施する必然性が薄れてきている。 ・装飾教室は、民間の類似事業との差別化に課題がある。	○ ・写真展はまちづくりに必要な連帯意識の醸成を図るため、北区自治連合協議会と共催で行っている。	△ ・写真展は毎年テーマを変えて募集しているが、新規の応募者数は減少している。 ・装飾教室はカラフルな作品を展示することで、区役所へ来られた方に対して目を引く作品となった。	○ ・写真展は、市民税の申告時期に合わせて約1か月間写真展示を実施したことで、より多くの来場者に鑑賞してもらうことができた。		
⑤自立発展性	総合評価				
○ ・写真やアートに触れていただくことで、同じ趣味や興味を持つ人とのつながりをつくるきっかけとなり、サークル活動への参加など、文化振興に役立つ可能性がある。	△ ・写真展は、撮影場所を北区に限定しないテーマで募集したものの、昨年度より応募者数や作品数は減少する結果となった。表彰式では受賞者同士や審査員との意見交換も図られ、文化振興の機会になっているものの、展示数が少なくイベント規模の維持が困難になってきている。 ・新たに実施した装飾教室は、多世代の参加者が交流しながら全員で一つの作品を楽しく制作することができたが、民間の類似事業との差別化に課題を残している。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	・写真展、装飾教室(アート教室)ともに、一定の事業効果は望めるものの、事業実施における課題も多い。 ・本事業は、長年の実施により、参加者同士の交流や情報交換、作品の鑑賞の機会の提供など、当初の事業目的を一定達成したので廃止とする。				